



高校生のカメラが捉えた 昭和30年代の徳島

— 石丸洋が撮った徳島 —

徳島駅前広場

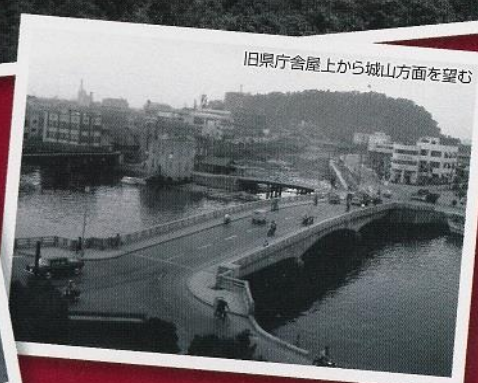
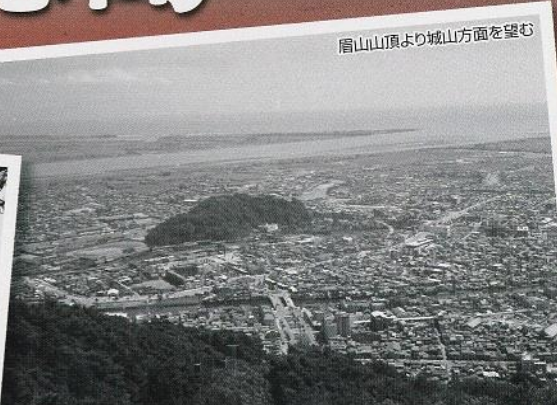
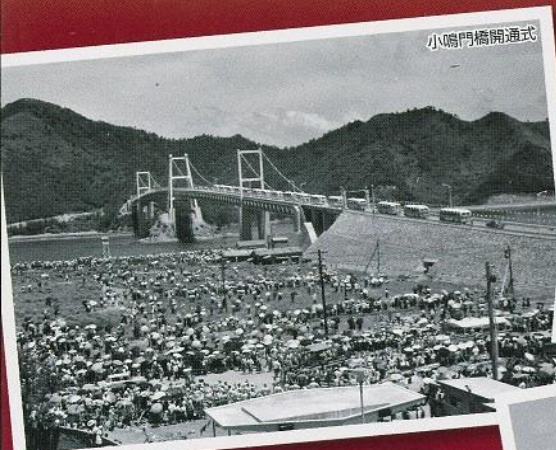
眉山山頂より城山方面を望む

小鳴門橋開通式

茶臼から鳴門海峡を望む

旧県庁舎屋上から城山方面を望む

旧徳島県博物館から新町橋筋の眺望



入場無料

県文◎ 第15回 徳島県民文化祭共催事業

展示期間 平成25年8月6日(火)～10月27日(日)

開館時間 午前9時30分～午後5時

ところ 徳島県立文書館

●展示解説 平成25年8月25日(日)・9月29日(日)
午後1時30分～
徳島県立文書館 展示室

●休館日 毎週月曜日 毎月第3木曜日
(祝祭日と重なった場合は翌日)
8月12日(月)・15日(木)は開館
8月16日(金)は閉館





ごあいさつ

徳島県立文書館では一万五千点を超える写真資料を所蔵しています。今回の企画展では、その写真資料の中から、美術写真家の石丸洋氏が高校生であった当時に撮影した写真を取り上げました。

石丸洋氏は、昭和十九年に小松島市立江町に生まれ、学生時代に考古学を学ぶとともに写真の技術を磨かれました。奈良県での発掘調査業務を経て、昭和四十九年から福岡県立九州歴史資料館で勤務され、退職された現在も福岡市に在住されています。

平成二十二年、当館は石丸氏から千二百点あまりの写真を寄贈していただきました。寄贈いただいた写真は、撮影した時期、場所がわかるように整理されており、今となっては本当に貴重な記録資料といえます。

そうした写真を撮影した高校時代、石丸氏はバスケットボール部に所属しながら、社会科部でも部長として企画・運営を行うなど活躍しています。日本史の教師から、神社仏閣、史跡、名勝天然記念物などの資料を集めて本を作ることを勧められたこともあり、関連の写真を撮るようになったとのこと。石丸氏は非常に精力的に、県内をくまなく回って撮影しており、今は大きく変わってしまった景観や人々の暮らしなどを写真に捉えています。

石丸氏が高校生だった頃、日本は高度経済成長期（昭和三十〜四十八年）という社会の大きな変化の中にありました。今回の展示では、多くの写真の中から、文化財、産業、人々の暮らしの様子などをいくつかのコーナーに分けて紹介します。写真からおわかりいただけるように、記録を残すということは、大切な財産を残す事であるとも言えます。今回の企画展が、ふるさと徳島の歩みを振り返り、時代とともに社会が変化しても大切に守り伝えていかなければならない記録や価値観について考える機会となることを願っています。

なお、今回の企画展の開催にあたり、貴重な資料、機材をご提供いただいた石丸洋氏、そして徳島県立城東高等学校、徳島新聞社、徳島市立考古資料館をはじめ関係者の皆さまに格別のご協力をいただきました。末尾ながら厚くお礼を申し上げます。

平成二十五年八月六日

徳島県立文書館長 結城 孝典

石丸 洋氏の写真について

石丸洋氏は一九六〇（昭和三十五年）年城東高校に入学し卒業までの三カ年間、県下のみならず近隣の他県へも足を伸ばし精力的に撮影を行っています。当時は高校生がカメラを駆使し撮影することは珍しかったと思いますが、日常生活から遺跡・史跡・天然記念物などに至るまで幅広く、精力的に撮影を行っております。撮影された写真からは物事を正しく理解し、記録しようとする学術的・資料整理の一面が強く感じられます。また写真には昭和三十年代の高度経済成長期の変化・発展する県下の姿も数多く写されており、当時を知る貴重な資料でもあります。さらに高校生活の写真も数多く撮られており、当時の教育の一端を垣間見ることが出来ます。これらの写真の多くは、その時々思い出の記念写真、文化財などを整理した記録写真などですが、それ以上に当時をうかがい知る貴重な資料的価値を有しています。今回の企画展においては、寄贈された写真から八十点を選び、五つのコーナーに分けて展示することとしました。「1 移り変わりゆく徳島」では、今日のカラー写真も一部交え、変わり行く様をより身近に感じてもらえるよう試みました。「2 変わりゆく産業・生業」では伝統的産業、変貌する産業、新しく生まれてくる産業などを人々の営みに注目し展示しました。「3 遺産」では名所・遺跡・史跡・天然記念物などの当時の姿を紹介しました。「4 高校生の姿」では高校生活の一端を紹介するとともに戦前の教育と比較し平和な時代に生きている高校生の姿を紹介しました。最後の「5 スナップ・ふれあい」では高度経済成長期の人々の暮らしや社会の姿を紹介しました。

今回の企画展が、当時の人々の暮らしや社会を見つめ直し、新たな社会を見据える参考になれば幸いです。



城東高校旧校舎建築工事現場にて

経歴

- 1944 (昭和19) 年 小松島市立江町で出生
- 1951 (昭和26) 年 徳島市富田小学校入学
- 1957 (昭和32) 年 徳島大学附属中学校入学
- 1960 (昭和35) 年 徳島県立城東高校入学
- 1963 (昭和38) 年 明治大学文学部入学
- 1967 (昭和42) 年 明治大学文学部卒業
奈良県教育委員会調査員
(主に藤原宮発掘調査)
- 1970 (昭和45) 年 奈良国立文化財研究所調査補助員
(飛鳥藤原宮跡調査室で発掘調査)
- 1974 (昭和49) 年 福岡県立九州歴史資料館勤務
- 2007 (平成19) 年 退職



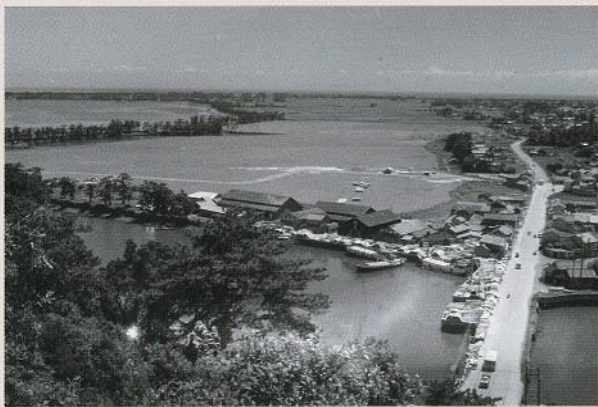
1, 移り変わりゆく徳島



吉野川橋と南岸河川敷



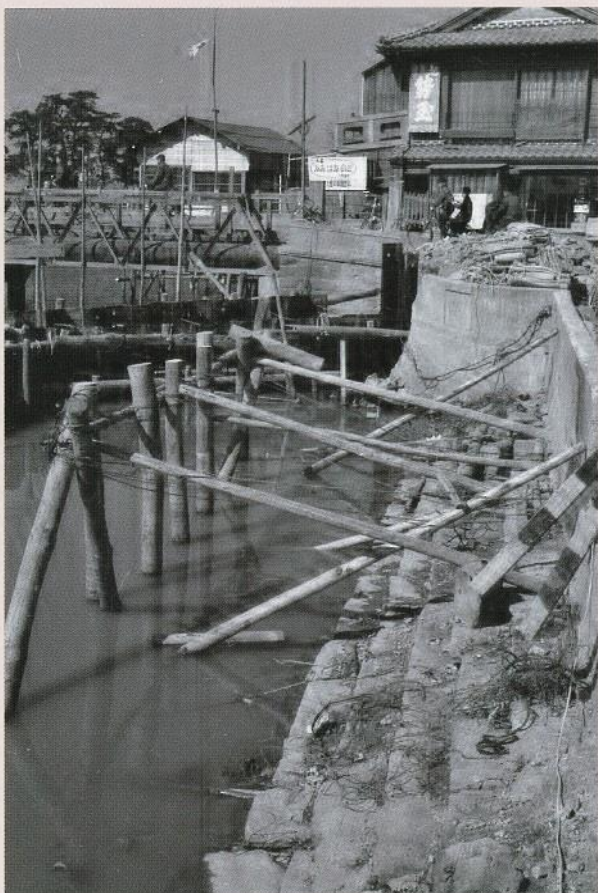
南斎田浜の塩田



和田津新田と国道55号線



徳島市浄水場工事



福島橋船着場跡



徳島刑務所正門



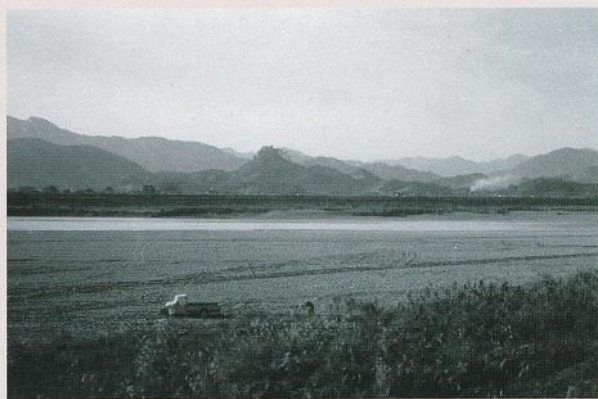
山城屋橋（御座船入江川にかかる）



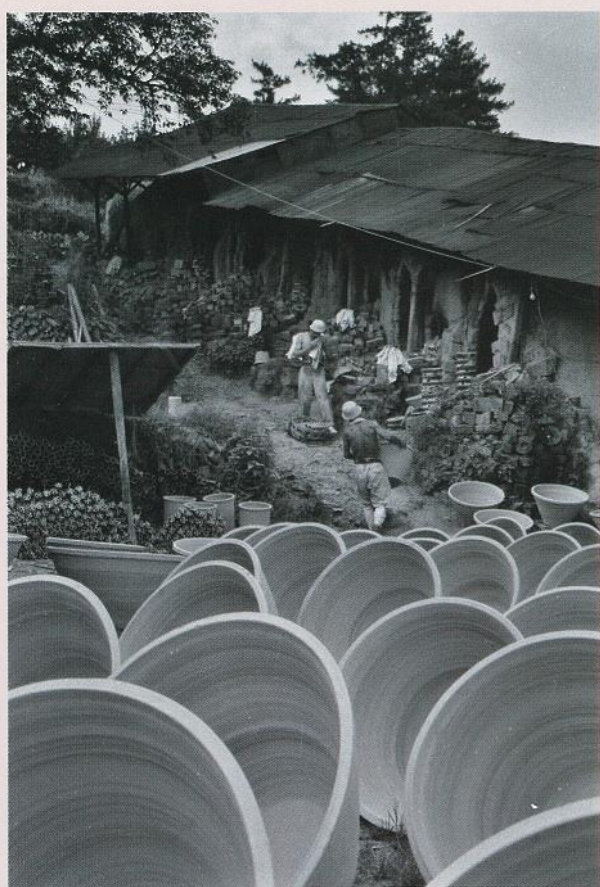
2, 変わりゆく産業・生業



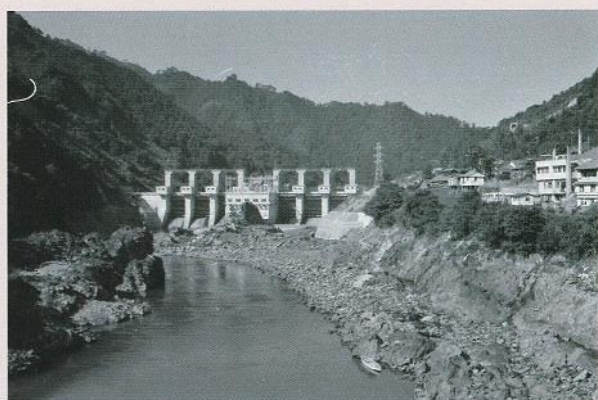
阿波踊り人形製作



砂利の採取



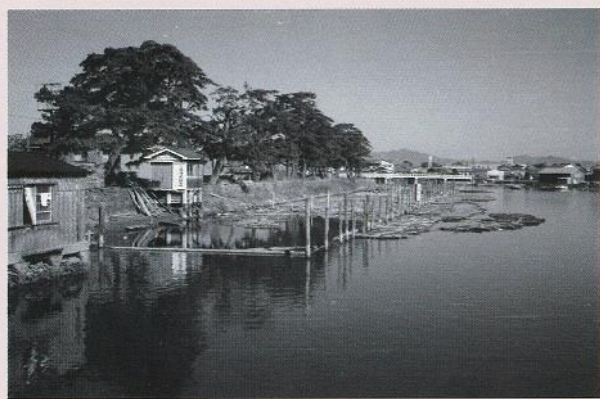
大谷焼と登り窯



川口ダム



美馬の和傘作り



川岸の貯木場



鳴門の塩田



3, 遺産



阿波国分寺庭園 (国名勝)



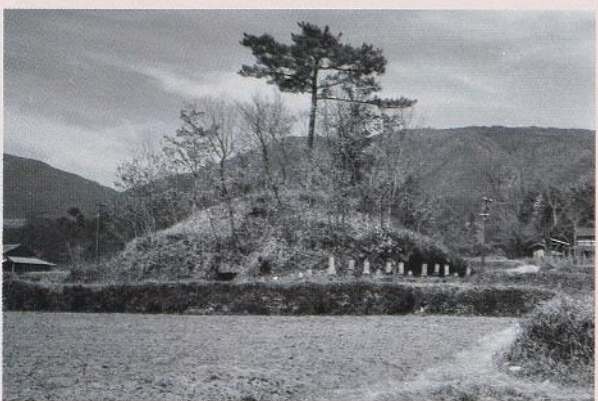
市楽の板碑群 (県有形)



金磯弁天



瑞巖寺・天狗の松



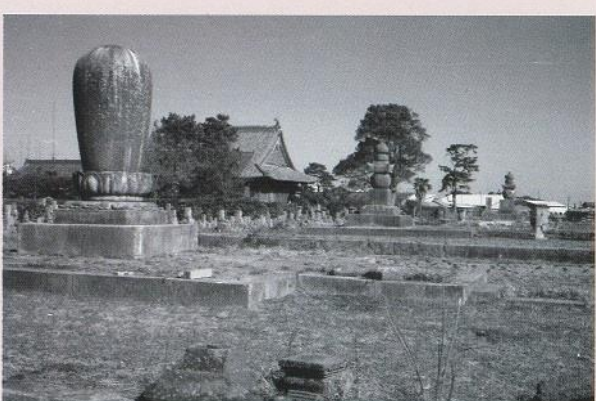
段の塚穴 (太鼓塚古墳全景) (国史跡)



津田御台場跡



袋井用水水源地 (県史跡)



蜂須賀家墓所・興源寺 (国史跡)



4, 高校生の姿



一宮城跡本丸跡 (県史跡)



遠足・大坂峠からの眺望



剣山登山・地図を見て登山計画



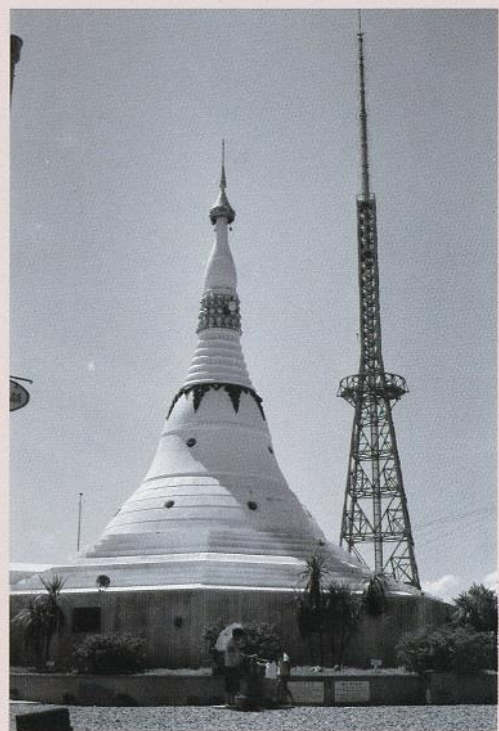
室戸岬付近の海岸にて



丈六寺山門にて



立川溪谷化石採集



眉山パコダ



5, スナップ・ふれあい



お稚見さん (大麻比古神社の祭)



阿波踊り



恩山寺案内板



剣山登山 (穴吹駅前)



寺島川と国道55号線



小松島港 (南海汽船乗り場)



大谷焼製作

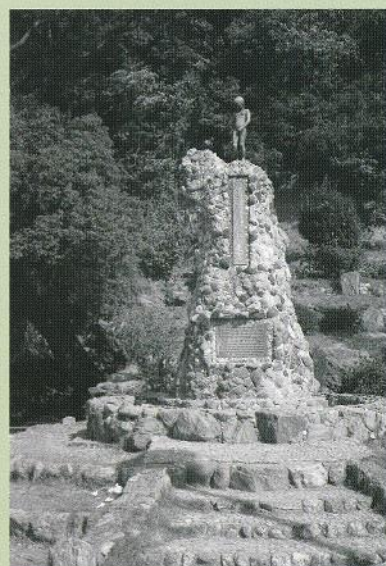


二軒屋付近を通る蒸気機関車

展示写真一覧

写真番号	表題	撮影年代	撮影場所	備考
表紙				
0009-04-04	眉山山頂より城山方面を望む	昭和36年	徳島市眉山町茂介ヶ原	眉山山頂
0009-05-20	徳島駅前広場	昭和36年		徳島駅前
0009-14-09	旧徳島県博物館から新町橋筋の眺望	昭和36年	徳島市新町橋2丁目	眉山ロープウェイ乗り場
0010-07-01	茶園から鳴門海峡を望む	昭和36年		鳴門公園・茶園
0010-06-25	小鳴門橋開通式	昭和36年	鳴門市撫養町大桑島	
0010-11-19	旧県庁舎屋上から城山方面を望む	昭和36年	徳島市万代町1丁目	旧県庁舎屋上
1, 移り変わりゆく徳島				
0009-04-16	吉野川橋と南岸河川敷	昭和36年	徳島市上助任大坪	
0009-01-02	南斎田浜の塩田	昭和36年	徳島市昭和町	
0009-11-38	福島橋船着場跡	昭和36年		
0010-06-06	和田津新田と国道55号線	昭和36年	小松島市赤石町	勢合山山頂
0010-15-15	徳島市浄水場工事	昭和37年	徳島市南昭和町	
0009-09-10	徳島刑務所正門	昭和36年		昭和46年入田町に移転
0010-03-15	山城屋橋(御座船入江川にかかる)	昭和36年	徳島市山城町	
2, 変わりゆく産業・生業				
0009-14-28	阿波踊り人形製作	昭和36年		大工町岩佐邸
0010-13-10	砂利の採取	昭和36年		
0010-03-27	大谷焼と登り窯	昭和36年	鳴門市 大谷	
0010-18-11	川口ダム	昭和37年	那賀川町吉野	
0009-12-23	美馬の和傘作り	昭和36年	美馬市美馬町	
0009-10-37	川岸の貯木場	昭和36年		福島橋
0009-03-08	鳴門の塩田	昭和36年		妙見山
3, 遺産				
0009-06-29	阿波国分寺庭園(国名勝)	昭和36年	徳島市国府町矢野	
0009-14-24	市楽の板碑群(県有形)	昭和36年	名西郡石井町高川原	石川神社
0009-09-27	金磯弁天	昭和36年	小松島市金磯町	
0010-01-05	瑞巖寺・天狗の松	昭和36年	徳島市	昭和56年枯死
0009-13-06	段の塚穴(太鼓塚古墳全景)(国史跡)	昭和36年	美馬市美馬町坊僧	
0009-10-29	津田御台場跡	昭和36年	徳島市津田町	
0010-10-35	袋井用水水源地(県史跡)	昭和36年	徳島市鮎喰町2丁目	
0009-11-04	蜂須賀家墓所・興源寺(国史跡)	昭和36年	徳島市下助任町	
4, 高校生の姿				
0010-10-01	一宮城跡本丸跡(県史跡)	昭和36年	徳島市一宮町	
0010-03-10	遠足・大坂峠からの眺望	昭和36年	板野郡板野町大坂	
0010-15-25	剣山登山・地図を見て登山計画	昭和37年		
0009-18-07	室戸岬付近の海岸にて	昭和35年	室戸市室戸岬町	
0010-05-07	丈六寺山門にて	昭和36年	徳島市丈六町	
0009-04-02	眉山パコダ	昭和36年	徳島市眉山町茂介ヶ原	眉山山頂
0009-15-32	立川溪谷化石採集	昭和36年	勝浦郡勝浦町棚野	
5, スナップ・ふれあい				
0009-07-37	お稚児さん(大麻比古神社の祭)	昭和36年	徳島市明神町	※
0009-05-12	阿波踊り	昭和36年		徳島市市役所前演舞場
0010-01-15	恩山寺案内板	昭和36年	小松島市田野町恩山寺谷	
0010-15-17	剣山登山(穴吹駅前)	昭和37年	美馬市穴吹町	
0010-19-24	寺島川と国道55号線	昭和37年	徳島市徳島町城内	
0009-08-01	小松島港(南海汽船乗り場)	昭和36年	小松島市小松島町新港	
0010-04-09	大谷焼製作	昭和36年	鳴門市大麻町大谷	
0009-06-36	二軒屋付近を通る蒸気機関車	昭和36年	徳島市富田橋8丁目	
裏表紙				
0009-07-25	子供平和記念塔	昭和36年		徳島公園内

※ 徳島市明神町6丁目にある大麻比古神社、通称「明神」さん。



子供平和記念塔

第四十七回 企画展
高校生のカメラが捉えた
昭和三十年代の徳島
 ―石丸洋が撮った徳島―
 平成二十五年八月六日発行

編集・発行
徳島県立文書館
 〒770-1807 徳島市八万町向寺山
 電話 〇八八(六六八)三七〇〇
 ナカガワ・アド株式会社
 〒775-1501 徳島県美馬市勝野全務屋宇営業三三三
 電話 〇八八三(五二二)一六四三

印刷